

# 週末集中セミナー

土曜日昼間3日間・年4科目開講

## 財務戦略集中コース

コースは、講義とケースメソッドの併用により、MBAの財務コースの中でも中核になっている企業価値評価、リスク管理、経営戦略における財務的思考について、受講生に集中的な検討の機会を提供します。受講生が、M&Aの判断、経営上のリスクコントロール、成長戦略の検討と評価などの局面で経営幹部が必要とされる、財務的思考と基本的手法を理解することを目的としています。

2012年2月25日(土)、3月3日(土)、3月10日(土)  
慶應義塾大学日吉キャンパス協生館

申込締切: 2012年1月25日(金)

### 第1回 2012年2月25日(土) 「行動ファイナンス」

ケース1: 「株式会社セブン銀行」  
セブン銀行は、2005年4月27日、千葉の「Ario 蘇我」にあるイトーヨーカドー蘇我店内に、セブン銀行初の有人店舗を出店した。コンビニのATMネットワークを中心とした銀行という分野でのベンチャーで大成功を収めたセブン銀行はさらなる発展を目指して、有人店舗も展開しようとしていた。金融・銀行という保守的な産業における全く新しいビジネスモデルに挑戦するベンチャーとも呼べる企業の経営戦略について議論する教材である。対応分野は、金融、財務管理、ベンチャービジネスである。

ケース2: 「株式会社ブリヂストン」  
ブリヂストン社が行ったファイアストーン社買収に際して、ブリヂストン社がビレリ社のTOBにどのように対応するかの検討。



担当: 小幡 績  
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授

Profile

### 第2回 2012年3月3日(土) 「金融派生商品について」

ケース1: 「昭和シェル石油株式会社」  
1993年2月昭和シェル石油は外国為替の先物予約取引に伴って多額の含み損を抱えたことを発表した。このケースでは、この損失への対応を検討する。

ケース2: 「株式会社ヒマラヤ」  
天候の変動による事業リスクをヘッジするため、1999年に日本で初めて天候デリバティブを購入した株式会社ヒマラヤのケース。このような商品の性質を学ぶとともに、付帯条件をつけるべきか否か、そもそも購入すべきか否かを考えさせるケースである。



担当: 高橋 大志  
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授

Profile

### 第3回 2013年3月10日(土) 「企業価値評価の基礎」

ケース1: 「日吉エール株式会社」  
日吉エール株式会社は、ケンブリッジエールから資本提携を伴う業務提携の提案を受けた。日吉エールの鈴木社長は、この事業拡大への投資およびそのための増資の妥当性検討を開始した。本ケースは、DCF法など標準的な企業価値評価手法を学ぶことを目的とした仮想ケースである。

ケース2: 「HOYAとペンタックス(A)」  
2006年の年末、HOYAとペンタックスは、統合に向けた協議を続けていた。HOYAの鈴木洋社長は、HOYAによるTOB(株式公開買付)を候補として考えていた。しかし、ペンタックスの浦野文男社長は、対等な精神の合併の方が好ましいと感じていた。2社は時価総額で大きな差があるため、実質的にHOYAに吸収されることは認識していたが、事業運営については対等の精神を打ち出すことが、社内をまとめるために必要と感じていた。



担当: 井上 光太郎  
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授

Profile

#### 標準的時間割(予定)

8:30-8:50	オリエンテーション、事務連絡(※初日のみ)	エグゼクティブセミナールーム	5F
8:50-9:50	グループディスカッション (ケース1)	ディスカッションルーム1~5	5F
10:00-11:30	クラスディスカッション (ケース1)	エグゼクティブセミナールーム	5F
11:30-12:30	昼休み		
12:30-13:30	グループディスカッション (ケース2)	ディスカッションルーム1~5	5F
13:40-15:10	クラスディスカッション (ケース2)	エグゼクティブセミナールーム	5F
15:10-15:40	コーヒーブレイク、自己紹介、名刺交換	ラウンジ	7F
15:40-17:10	レクチャー	エグゼクティブセミナールーム	5F

※担当者により時間配分が変わることがございます。詳細は事前にご案内します。

#### エグゼクティブセミナールーム (5F)



#### ラウンジ (7F)



まとまった時間が確保できない皆様のために、単独コースを土曜日に受講できるプログラムです。2年間で計8分野をカバーするプログラムで、ご希望のコースを受講することができ、ジェネラリストとしての視点を養成できる体制が整っております。会社での勤務を続けながら、特定領域をより深く学び、経営教育の基本8分野を横断的に学習することができます。

## ■ 特色

### 科目別集中プログラム

主要な8分野の中から、ご希望のコースを受講することが可能です。本年は右欄の4コースを開講します。

### 土曜日開講

様々な科目をまとめて受講する時間が確保できない方のために、科目別受講を可能とし、且つ土曜日に開講します。

### 特定分野における必要な知恵と人的ネットワークの獲得

様々な業種、業界、職種から集まった参加者同士で、具体的な経営課題について討議することにより、状況分析力や意思決定能力を研鑽し、特定の分野における必要な知恵と人的ネットワークが得られます。

### ケースメソッドの進め方

各科目は、ビジネス教育で効果が高い「ケースメソッド」を主たる教育方法として採用しています。参加者は、事前にケースと設問の配布を受け、それを元に事前自己学習を行ってから実際のセッションに臨みます。以下のような学習プロセスでプログラムは進行します。



このようなプロセスを実際の企業経営の事例をもとに作成されたKBSのケースを材料として繰り返し行うことによって、参加者はそのケースにおいてどこに問題があるかを見定め、その問題に関連する記述・資料を関係付けたり解釈する能力を養い、問題解決の具体的方策を考え提案するという、実践的な経営管理能力を育成することができます。また、グループディスカッションを通じ、全体ディスカッションだけでは得られない、参加者間のより深い交流が期待できます。

## 2011年度のコース内容

土曜日昼間3日間・年4科目開講

### 意思決定とマネジメントシステム集中コース

経営の場で避けることのできない不確実性をどのように表現し分析するかを検討します。また不確実性の下で意思決定を支援するのに重要な分析ツールである「確率モデル」や「ディジション・ツリー」について取り上げます。

### 会計管理集中コース

「会計リテラシー」の重要性を認識するとともに、会計を経営のツールとして使う能力を鍛える講座です。さまざまな企業の財務諸表を読み解きながら、経営分析を行い、経営の中身にまで立ち入って議論していきます。その中で「財務諸表の読み解き方」をわかりやすく解説します。

### ヘルスケアポリシー&マネジメント集中コース

わが国の医療・介護制度(公的保険と提供体制など)と、医療・介護経営および地域マネジメントの問題点や課題を把握し、今後の方向を求める討議を行います。また、医療分野に新規参入した企業の事例を基に、医療ビジネスの特徴ならびに成功条件を議論します。さらに、今後想定しうる様々な外部環境変化を取り上げ、企業ならびに医療機関がどのような対応をすべきかを検討します。

### 財務戦略集中コース

コースは、講義とケースメソッドの併用により、MBAの財務コースの中でも中核になっている企業価値評価、リスク管理、経営戦略における財務的思考について、受講生に集中的な検討の機会を提供します。受講生が、M&Aの判断、経営上のリスクコントロール、成長戦略の検討と評価などの局面で経営幹部が必要とされる、財務的思考と基本的手法を理解することを目的としています。

## ■ 受講料

1コース(3日間9セッション) 138,600円(税込)

※賛助員(法人)は割引制度有

※全8コース受講の場合、8コース目の受講料40,000円(税込)

## ■ お申し込み

週末集中セミナーWEBサイトのメールフォームよりお申し込みください。

<http://www.kbs.keio.ac.jp/seminar/mdip/>

慶應 MDIP

検索

## ■ 受講日の施設利用について

① 駐車場(協生館地下 200円/30分)

② 無線LAN(会場内 無料) ※ご利用になる場合はPCをご持参ください。

③ 学生食堂(営業しております)

④ 宿泊施設(4000円/1泊・シングルの場合)

詳細はセミナー担当までお問い合わせください。

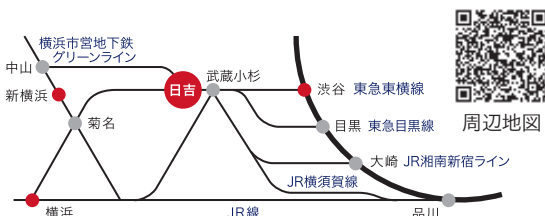
2011年度開講予定の4コース	開講初日
意思決定とマネジメントシステム集中コース	2011年 4月 9日(土)
会計管理集中コース	2011年 5月 21日(土)
ヘルスケアポリシー&マネジメント集中コース	2011年 11月 26日(土)
財務戦略集中コース	2012年 2月 25日(土)

※申込締切は各科目開講1ヵ月前

2012年度開講予定の4コース	開講初日
経営戦略集中コース	2012年 4月 14日(土)
生産システム革新集中コース	2012年 5月 19日(土)
マーケティング集中コース	2012年 11月 24日(土)
革新的組織マネジメント集中コース	2012年 2月 23日(土)

※各コース共、土曜日 全3回での実施となります。

※申込期限前でも、定員になり次第受付を締め切らせていただきます。



## ■ 交通アクセス

・東急東横線、東急目黒線  
・横浜市営地下鉄グリーンライン  
日吉駅下車、徒歩1分

渋谷～日吉: 25分(急行約20分)

横浜～日吉: 20分(急行約15分)

新横浜～菊名～日吉: 20分

※東急東横線の特急は日吉駅に停まりません。

## お問い合わせ

慶應義塾大学ビジネス・スクール事務室 セミナー担当  
〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1  
Tel: 045-564-2440 (ダイヤルイン)  
Fax: 045-562-3502  
E-mail: seminar@kbs.keio.ac.jp  
<http://www.kbs.keio.ac.jp/>